

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月5日
上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド
 コード番号 5331 URL <https://www.noritake.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 博
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 中村 吉雅 TEL 052-561-7116
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	94,113	7.1	5,910	46.8	7,691	38.5	6,301	36.0
30年3月期第3四半期	87,905	10.5	4,027	123.7	5,553	76.8	4,633	133.7

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,758百万円 (△83.2%) 30年3月期第3四半期 10,451百万円 (178.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	438.71	—
30年3月期第3四半期	322.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	148,009	103,594	67.6	6,960.48
30年3月期	156,283	103,026	63.7	6,941.38

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 100,021百万円 30年3月期 99,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
31年3月期	—	40.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	4.3	6,600	29.5	8,700	24.4	9,000	△33.0	626.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	14,842,849株	30年3月期	14,842,849株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	472,900株	30年3月期	492,950株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	14,363,781株	30年3月期3Q	14,358,332株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】2ページ
1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は941億13百万円（前年同期比7.1%増加）、営業利益は59億10百万円（前年同期比46.8%増加）、経常利益は76億91百万円（前年同期比38.5%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は63億1百万円（前年同期比36.0%増加）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

（工業機材）

国内では、主要顧客である自動車、鉄鋼及びベアリング業界の生産が堅調に推移したこと、また、ダイヤモンド工具販売会社の新規連結もあり、売上げは増加しました。海外では、北米の売上げが減少したものの、中国では鉄鋼業界の生産が高水準を維持したほか、東南アジアは自動車産業が回復基調となったことにより、増加しました。オフセット砥石などの汎用砥石は、アジア向けが低調で減少しました。その結果、工業機材事業の売上高は、479億26百万円（前年同期比7.1%増加）、営業利益は18億68百万円（前年同期比30.5%増加）となりました。

（セラミック・マテリアル）

車載用や通信機器用の電子部品の需要が拡大したことから、電子ペーストは、コンデンサー用及びインダクタ用が増加し、電子部材も伸長しました。セラミック原料は、硝子原料、陶磁器原料ともに増加しました。触媒担体の売上げは大きく増加、セラミックコアも伸長、蛍光表示管、石膏は微増となりました。厚膜回路基板は減少しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、262億90百万円（前年同期比10.4%増加）、営業利益は30億96百万円（前年同期比45.3%増加）となりました。

（エンジニアリング）

主力の乾燥炉及び焼成炉は、リチウムイオン電池及び電子部品分野の設備投資が活発に行われたことにより堅調に推移しました。混合攪拌装置は、引き合いは増加したものの、大型案件が少なく低調でした。濾過装置は、ベアリングや自動車向けが大きく増加しました。超硬丸鋸切断機は、海外向けは低調でしたが国内向けが伸長し、増加しました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、136億90百万円（前年同期比4.8%増加）、営業利益は15億81百万円（前年同期比36.0%増加）となりました。

（食器）

国内市場は、地方の百貨店やエアライン向けは減少しましたが、ホテル・レストラン向けが堅調に推移し、全体では微増となりました。海外市場は、米国では主要顧客である百貨店等の販売低迷により減少しました。欧州・アジアでは、専門店及びホテル・レストラン向けは増加しましたが、エアライン向けが減少し、海外全体では微減となりました。その結果、食器事業の売上高は、62億5百万円（前年同期比1.3%減少）、6億35百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1年内返済予定の長期借入金の返済及び法人税等の支払で現金及び預金が増加したことに加え、保有株式の株価下落に伴い投資有価証券の時価総額が減少したことから、前連結会計年度末に比べ82億74百万円減少し、1,480億9百万円となりました。

負債は、1年内返済予定の長期借入金及び未払法人税等が減少したことから、前連結会計年度末に比べ88億42百万円減少し、444億14百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ5億68百万円増加し、1,035億94百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、平成30年9月28日発表の見通しを修正しておりません。業績予想に修正が必要となった場合には速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,485	11,769
受取手形及び売掛金	30,382	31,642
電子記録債権	4,377	4,468
商品及び製品	8,542	8,781
仕掛品	5,109	5,750
原材料及び貯蔵品	4,712	5,656
その他	1,395	1,860
貸倒引当金	△18	△23
流動資産合計	72,987	69,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,777	16,785
その他(純額)	24,392	25,025
有形固定資産合計	41,170	41,811
無形固定資産		
無形固定資産	1,105	1,181
投資その他の資産		
投資有価証券	36,974	31,021
退職給付に係る資産	2,798	2,800
その他	1,370	1,409
貸倒引当金	△123	△121
投資その他の資産合計	41,019	35,109
固定資産合計	83,295	78,103
資産合計	156,283	148,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,775	12,852
電子記録債務	7,622	8,053
短期借入金	3,597	6,791
1年内返済予定の長期借入金	9,196	1,570
未払法人税等	2,597	634
引当金	1,540	482
設備関係支払手形	390	427
営業外電子記録債務	340	422
その他	5,780	5,134
流動負債合計	42,842	36,370
固定負債		
長期借入金	320	83
引当金	372	438
退職給付に係る負債	1,835	1,774
その他	7,885	5,747
固定負債合計	10,414	8,043
負債合計	53,256	44,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,783	18,760
利益剰余金	52,261	57,394
自己株式	△1,228	△1,189
株主資本合計	85,448	90,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,012	10,401
為替換算調整勘定	△2,437	△2,628
退職給付に係る調整累計額	1,584	1,651
その他の包括利益累計額合計	14,159	9,424
非支配株主持分	3,418	3,573
純資産合計	103,026	103,594
負債純資産合計	156,283	148,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	87,905	94,113
売上原価	64,372	68,423
売上総利益	23,532	25,690
販売費及び一般管理費		
販売費	13,138	13,558
一般管理費	6,366	6,221
販売費及び一般管理費合計	19,504	19,779
営業利益	4,027	5,910
営業外収益		
受取利息	73	89
受取配当金	630	706
受取賃貸料	319	320
為替差益	26	69
持分法による投資利益	551	637
その他	118	172
営業外収益合計	1,718	1,995
営業外費用		
支払利息	46	27
固定資産賃貸費用	108	111
その他	37	75
営業外費用合計	192	214
経常利益	5,553	7,691
特別利益		
固定資産売却益	294	157
投資有価証券売却益	129	4
段階取得に係る差益	—	49
特別利益合計	424	211
特別損失		
固定資産処分損	223	101
減損損失	162	—
その他	2	13
特別損失合計	388	114
税金等調整前四半期純利益	5,588	7,787
法人税、住民税及び事業税	1,134	1,336
法人税等調整額	△442	△37
法人税等合計	691	1,298
四半期純利益	4,896	6,488
非支配株主に帰属する四半期純利益	263	187
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,633	6,301

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	4,896	6,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,104	△4,624
為替換算調整勘定	73	△182
退職給付に係る調整額	364	72
持分法適用会社に対する持分相当額	11	4
その他の包括利益合計	5,554	△4,730
四半期包括利益	10,451	1,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,101	1,566
非支配株主に係る四半期包括利益	349	192

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	44,736	23,824	13,059	6,285	87,905
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,431	2,131	1,162	△698	4,027

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計		
減損損失	109	34	—	18	162	—	162

(注) 遊休状態にあり今後も使用の目的が立たない固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上いたしました。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	47,926	26,290	13,690	6,205	94,113
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,868	3,096	1,581	△635	5,910

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「工業機材」セグメントにおいて、第1四半期連結累計期間に日本フレキ産業株式会社の株式を追加取得したことに伴い、のれんを52百万円計上しております。